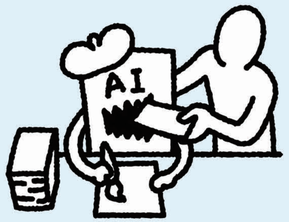
町長コラム

温故創新

初生成AIコラム

本年は第三次総合計画を旗印に、持続可能で誰もが幸せを実感できるまちづくりを推進します。防災・防犯や福祉・子育て支援を充実させ安心の基盤を築くと共に、中学生のハワイ研修など国際交流で若者の視野と挑戦を広げます。風車が創る再生可能エネルギーと地場産品を生かした「風車プレミアム給食」は、子供の健康と地域循環の両立を目指します。令和14年に開校を目指す統合小学校は、通学、施設活用、地域連携などの課題を整理し教育の質の向上に努めます。また、まちづくセンターなどの交流拠点では人とのつながりを深め、観光資源や特産品などの地域資源に磨きをかけ、道の駅の活性化とふるさと納税の効果的な活用で販路並びに地域資金の拡大を図ります。



課題となっている少子高齢化、人口流出に対応するため公共交通の整備や医療環境の充実、職場の環境整備、DXの推進による働き方改革、外部人材を活用する担い手確保など、起業支援や雇用創出と両立させながら地域の活性化を推進します。

そして、官、民、教育機関や広域連携など施策に応じた柔軟な対応を図りながら、住民参加の見える化を実現し、協働、共創の意識の醸成につなげます。併せて、透明な財政運営のもと定期的な評価を実施し、次世代へ誇れる豊かな暮らしを共に推進します。

実はこの文章➡「総合計画の推進」というテーマでAIに初めて原稿を依頼したものです。役場で活用しているAIは、まだまだ的確に表現してくれないので、かなり修正しましたが、それでも何か違和感が残ります。AIの活用も必要かもしれませんが、やはり言霊（ことだま）としての自分自身の言葉や想いを大事に、みなさんに伝えていきたいと改めて思ったところです。

庄内町長　富樫　透